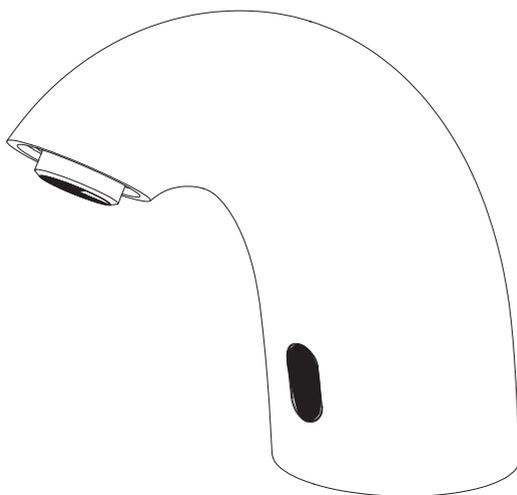


取扱工事説明書

自動水栓 FAS001-BS,FAS001-BS(R)

(ご使用前に必ずお読みください)



- この度は、**自動水栓**をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ご使用前に**必ず本書をお読み**いただき、正しい施工・使用方法を理解したうえでご使用ください。
誤った使用方法は、事故や故障の原因となります。
- 本書は大切に保存し、必要な時にお読みください。

1. 安全上のご注意

誤った使い方によって生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

| | |
|---|---|
|  | この表示は「傷害及び死亡を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。 |
|---|---|

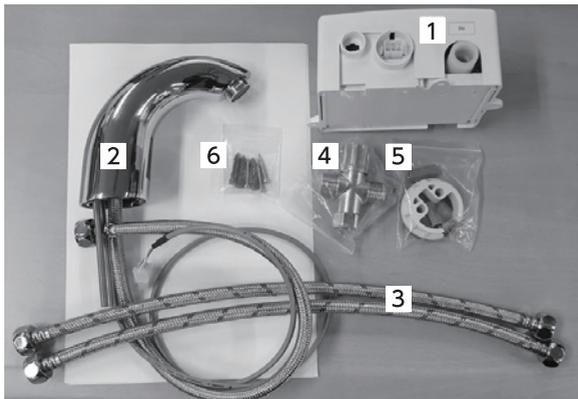
お守りいただく内容を次の絵表示で説明しています。

| | |
|---|--------------------------|
|  | この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | この絵表示は、必ず「実行」していただく内容です。 |

使用上のご注意

| | |
|---|--|
|  | 本書に記載された箇所以外の分解、改造、修理、指定外部品の取付けは絶対に行わないでください。火災や故障、感電の原因となります。 |
|  | 電気製品ですので、コントロール部に水をかけないでください。火災や故障、感電の原因となります。 |
|  | パブリックおよび一般住宅の洗面用です。車輻や船舶などの乗り物、振動の影響を受ける場所では使用しないでください。振動により故障する場合があります。 |
|  | 浴室などの湿気の多い場所で使用しないでください。故障、感電などの原因となります。 |
|  | 屋外や凍結の恐れのある場所では使用しないでください。故障、水漏れ、感電の原因となります。 |

2. 各部の名称・同梱品



取扱工事説明書(本書)に加え、下記のものが同梱されています。

1. コントロールボックス
2. 水栓本体(センサコネクタ付き)
3. 給水・給湯ホース(450mm)
4. ミックスバルブ
5. 締付ホルダ
6. 施工用アンカーボルト

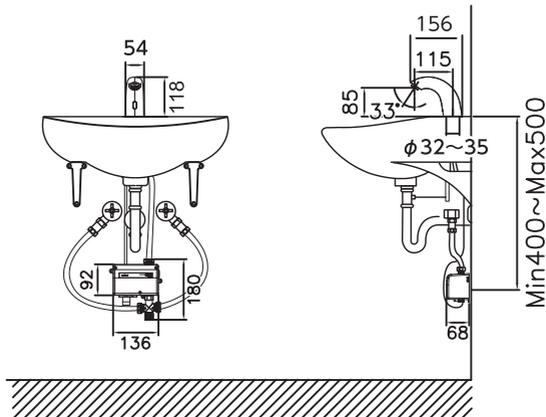
3. 仕様

| | |
|--------|--------------------------------|
| 電源 | 1.5V 単3形アルカリ乾電池 4本(別売) |
| 電池寿命 | 約2年(使用頻度によって前後します) |
| 使用環境温度 | 1～50℃ |
| 給水温度 | 1～60℃ |
| 使用流体 | 上水道水 |
| 給水圧力※ | 0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静止圧) |
| 検知距離 | センサーより50～200mm(工場出荷時100～120mm) |
| 用途 | パブリックおよび一般住宅洗面用 |

※ 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
製品仕様、機能等は予告なく変更することがあります。仕様は目安値を含みます。

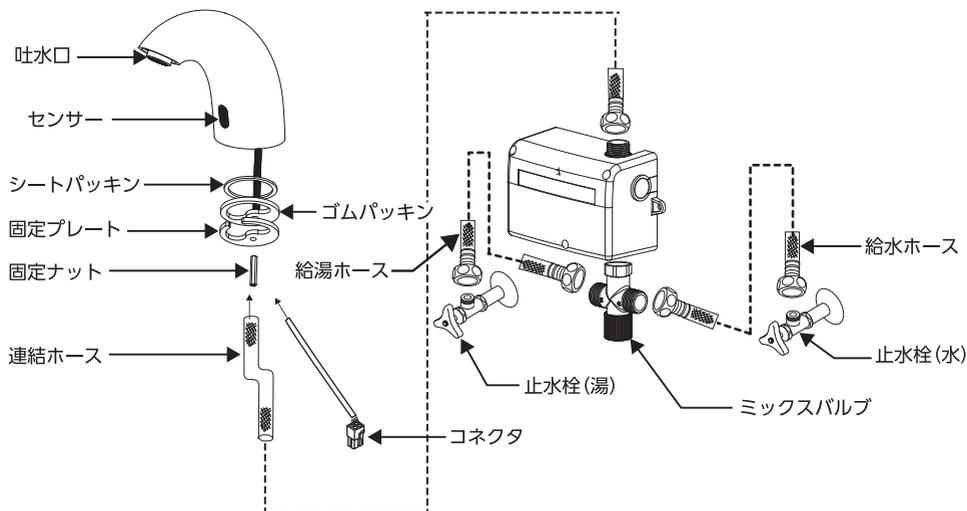
4. 取付け前に

- ・センサー部を傷つけないよう十分にご注意ください。
- ・インバーター、赤外線を用いた機器を近くに置かないでください。
電磁波の影響により誤作動することがあります。
- ・直射日光が当たる場所では使用しないでください。誤作動の原因となります。
- ・本製品は屋内用ですので、屋外では使用しないでください。故障の原因となります。
- ・通水検査後に梱包していますので製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。



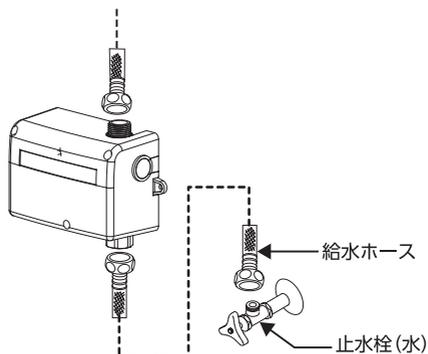
5. 取付け方法

① 本体、給水・給湯ホースの取付け



- ・本体はガタツキが無いように取付けてください。
- ・ミックスバルブで給水量と給湯量の調節が可能です。
- ・ミックスバルブのホース取付け部には「C」と「H」の表示があります。「C」側には給水ホース、「H」側には給湯ホースを取付けてください。
- ・給水のみ接続の場合はミックスバルブの取付けは不要です。直接給水ホースをコントロールボックスに取付けてください。

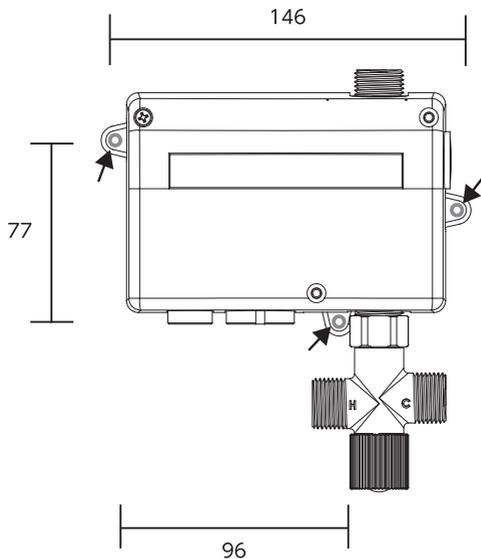
給水のみ接続の場合



⚠ 注意

| | |
|---|--|
| ❗ | 給湯側の止水栓および給湯ホースは高温になっていますので、手袋をはめるなどの対策をして触れてください。火傷をする可能性があります。 |
| ❗ | コントロールボックスへの給湯温度が60℃以下になるように調整してください。 |
| ❗ | 給水管内の清掃は必ず行ってください。吸水管内にゴミ、砂などが残っていると故障や吐水量不足の原因となります。 |

① コントロールボックスの取付け方法

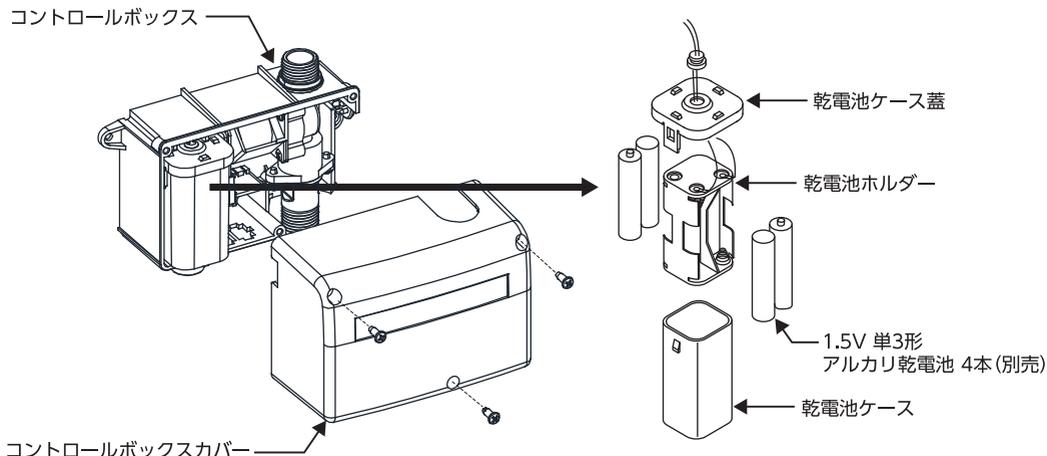


- ・コントロールボックスはミックスバルブを接続するIN側を下にして取付けてください。
- ・コントロールボックスをねじ等で固定してください。
下穴の目安はφ3.4mm前後(オールプラグを使用する場合はφ6mm、深さ30mm)です。
- ・取付壁が石膏ボードの場合は栈木のある場所に取り付けたり、補強板を設置するなどしてください。
- ・コントロールボックスは、現場の状況に合わせて位置を選定して、設置してください。

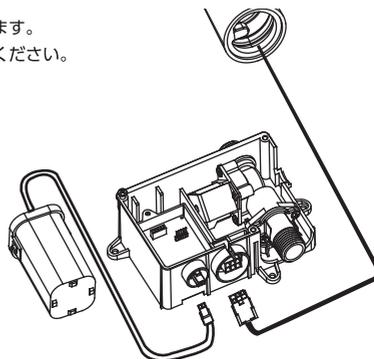
⚠ 注意

| | |
|---|--|
| ⚠ | コントロールボックスの取付けは水のかからない場所を選定してください。 機器故障、発火、感電等の原因となります。 |
| ⊘ | 濡れた手でコントロールボックスに触れないでください。感電の原因となります。 |

6. 電池の取付け・コネクタ接続



- ・コントロールボックスの電池カバーを取り外して電池ホルダーを外します。
- ・電池ホルダーに表示された極性 (+、- の向き) を確認して取付けてください。
- ・組み立ては分解と逆の手順で行ってください。
- ・右図のようにコネクタを接続してください。

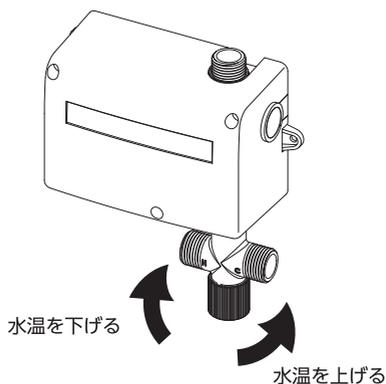


⚠ 注意

| | |
|---|---|
| ❗ | 必ず1.5V単3形アルカリ乾電池を使用してください。 |
| ❗ | 電池の取付け、交換は4本同時に行ってください。また、古い電池と新しい電池や、異なる種類の電池を混ぜ合わせないでください。機器の破損、ケガ、汚損の原因となる場合があります。 |
| ❗ | コントロールボックスカバーを取り付ける際、ケーブルがカバーにはさまらないようにしてください。 |
| ⊘ | 濡れた手でコントロールボックスに触れないでください。感電の原因となります。 |
| ⊘ | 作業中、コントロールボックス内に水をかけないようにしてください。機器故障、発火、感電等の原因となります。 |
| ⊘ | 電池の極性 (+、- の向き) を間違えて取付けないでください。機器の破損、ケガ、汚損の原因となる場合があります。 |
| ⊘ | 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 |

7. 試運転

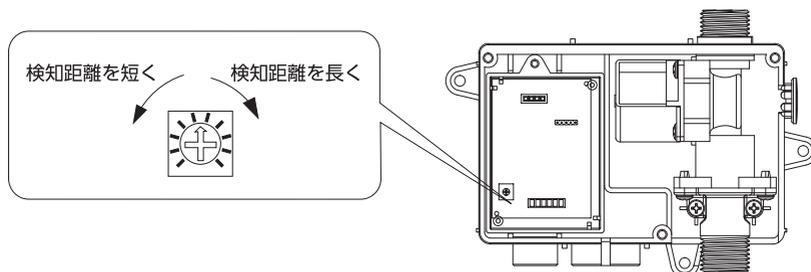
- ① 水漏れがないか確認してください。
 - ・ 止水栓を開けてホース接続部などから水漏れがないことを確認してください。
- ② 水を出して確認してください。
 - ・ 吐水口に手を近づけて水を出してください。
 - ・ ホース接続部などから水漏れがないことを確認してください。
 - ・ 吐水口から手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
 - ・ 吐水口に手を近づけたままにしておくと、約30秒で自動的に水が止まります。再び水を出したい場合は一度吐水口から手を離し、もう一度近づけてください。
- ③ 水温を調整してください。（給水ホースと給湯ホースの両方を接続した場合）
 - ・ ミックスバルブを調整し水温を調整してください。
 - 時計回りに回すと水温が下がり、反時計回りに回すと水温が上がります。



⚠ 注意

| | |
|--|--|
| | 給湯側の止水栓および給湯ホースは高温になっていますので、手袋をはめるなどの対策をして触れてください。火傷をする可能性があります。 |
| | コントロールボックスへの給湯温度が60℃以下になるように調整してください。 |

- ④ （必要な場合）検知距離を調整してください。
 - ・ 検知距離は、工場で調整されて出荷されますが、必要な場合は調整を行ってください。
 - ・ コントロールボックスを開け、乾電池ケースを外し、青色のポリウムを精密ドライバーで調整します。検知距離は時計回りに回すと長く、反時計回りに回すと短く調整されます。



8. 使い方



- ・ 吐水口に手を近づけると吐水口から水が出ます。
- ・ 吐水口から手を離すと約1秒後に水が止まります。
- ・ 吐水口に手を近づけたままにしておくと、約30秒で自動的に水が止まります。
再び水を出したい場合は一度吐水口から手を離し、もう一度近づけてください。

⚠ 注意

| | |
|---|---------------------------------------|
| ⊘ | 製品に無理な力や衝撃を加えないでください。故障や水漏れの原因になります。 |
| ⊘ | 吐水口をふさぐような使い方をしないでください。水漏れなどの原因となります。 |
| ⊘ | センサーの表面に傷をつけないでください。 |

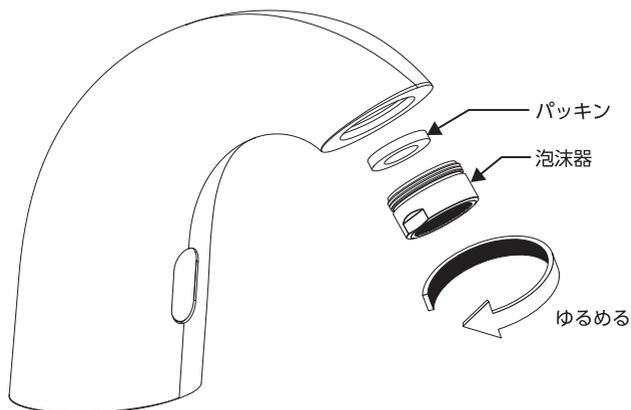
お願い

- ・ 検知エリア内に障害物が入らないようにしてください。
- ・ 製品の周辺にガラス、鏡、ステンレスなどの反射率の高い製品がないようにしてください。
センサーが反応したり、誤作動することがあります。
- ・ 電波を発する機器などの周波数に反応することがありますが、故障ではありません。

9. お手入れ

吐水口

- ・ 泡沫器をレンチ等で外して内側に詰まったゴミや異物をブラシなどで取り除いてください。



布拭き

- ・ やわらかい布を乾いたまま、または水・ぬるま湯に浸して本体やセンサー部の汚れをふき取ってください。
- ・ 汚れがひどい場合は、やわらかい布に中性洗剤を含ませて汚れをふき取った後、水ぶきしてください。

センサー

- ・ 電池が消耗するとセンサー部が赤く点滅し、吐水できなくなります。電池を交換してください。
- 電池の交換方法についてはP.6の**電池の取付け・コネクタ接続**をご覧ください。

コントロールボックス

- ・ ホコリを清掃してください。

⚠ 注意

| | |
|---|---|
| ⚠ | 吐水口の清掃、電池交換などのお手入れの際は止水栓を閉じてから行ってください。 予期せぬ吐水により財産損害発生の原因となる場合があります。 |
| ⚠ | コントロールボックスのホコリは定期的に清掃してください。感電、発火の原因となる可能性があります。 |
| ⚠ | 長期間使用しないときは乾電池ケースから乾電池を取り外して保管してください。 |

10. 故障かなと思ったら

| 現象 | 原因 | 処置 |
|---------|------------------|----------------------------|
| 水が出ない | 電池が消耗している | 電池を交換してください |
| | 電池が正しく取付けられていない | 極性(+、-の向き)を確認して正しく取付けてください |
| | コネクタが外れている | コネクタを接続してください |
| | センサーが汚れている | センサーの汚れを取ってください |
| | センサーの前に障害物がある | 障害物を取り除いてください |
| | 止水栓が閉じている | 止水栓を開いてください |
| | 断水している | 復旧するまで待ってください |
| 吐水量が少ない | 止水栓が十分に開いていない | 止水栓を開いてください |
| | 吐水口が目詰まりしている | 吐水口を清掃してください |
| 水が止まらない | センサーの表面が汚れている | 汚れを取ってください |
| | センサーの前に障害物がある | 障害物を取り除いてください |
| | 他の機器の電磁波等が影響している | 影響している機器を遠ざけてください |

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

保証書と修理サービス

保証書（保証規定）

お買い上げ商品を本書に従った使用で、万一故障が発生した場合は、無償交換します。

| 型式 | FAS001-BS,FAS001-BS(R) | 品名 | 自動水栓 |
|------|------------------------|----------|------|
| お客様 | お名前： | | |
| | ご住所：〒 | | |
| | 電話： — — | FAX： — — | |
| 保証期間 | お買い上げ日： 年 月 日から 1年間 | | |
| 販売店 | 販売店名： | | |
| | ご住所：〒 | | |
| | 電話： — — | FAX： — — | |

本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.

■無償修理を受けるための条件および手続きと保証範囲

- (1) 本保証書をご提示の上、お買い上げの販売店又は弊社コールセンターにご相談ください。
- (2) 保証書に記入した内容（お買い上げ日、販売店）を確認できる納品書やレシート等をご提示ください。
- (3) ご転居の場合は事前にお取扱い店にご相談ください。
- (4) 本製品の故障または不具合（水漏れ等を含む）に伴う生産補償、営業補償など二次補償に対する保証はいたしません。

■次の場合は保証期間内でも有償修理となります

- (1) 本保証書のご提示がない場合。
- (2) 本保証書にお名前、お買い上げ日、販売店名の記載がない、あるいは字句等を書き換えられている場合。
- (3) 取扱上の不注意、取扱工事説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷の場合。
- (4) 使用上の誤り、あるいは不当な施工、修理や改造による故障、および損傷。
- (5) ご購入後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
- (6) 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
- (7) 経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる不具合および外観の劣化。
- (8) 海岸付近、温泉地など過酷な使用環境に起因する不具合。
- (9) 動植物などに起因する不具合。
- (10) 天災・地変（火災・地震・水害・塩害・落雷・その他天災地変・公害・煤煙・薬品・凍結・異常電圧など）による故障及び損傷。
- (11) 消耗品の交換・修理
- (12) 配管内への砂やごみなどの流入、配管の錆および水あかなどの固着に起因する不具合。
- (13) 上水道以外の水を使用したことに起因する不具合。
- (14) 寒冷地仕様でない商品における凍結による故障及び損傷。
- (15) 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合。
- (16) 製品本来の目的以外の用途に使用した場合の故障。

■保証書の保管

- ・保証書は、よくお読みになった上で、お客様のお名前、ご住所、お買い上げ日、販売店等の必要記載事項については恐縮ですが、お客様でご記入いただき、納品書とともに大切に保管してください。
- ・本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

修理サービスについて

■修理を依頼されるときは

- ・修理はお買い上げ販売店または下記の弊社コールセンターにご相談ください。
- ・保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様ののご要望により有償にて承ります。

フローバル 株式会社 コールセンター  0120-453-802